

# ネットワークボード

## 『えびす青年教室&GAYA』

令和3年度「障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰」受賞  
おめでとうございます！

41年の歴史があり、私たちぱれっとの原点でもある、障がいのある人たちに関する生涯学習支援活動「えびす青年教室」と「GAYA」から、文部科学大臣表彰の一報が入りました。ぱれっと関係者一同、心よりお祝い申し上げます。

私たちぱれっとの創立は1983年。当時、えびす青年教室に関わっていたボランティア有志や障がいのある人たちの中から、「月1回の青年教室プログラムだけではなく、障がいの有無に関わらず日常的に地域に集える場所を作ろう」という声が上がったことがぱれっと誕生のきっかけとなりました。その後、幡ヶ谷地区の青年教室「GAYA」も開設、現在もなお、多くの人たちが参加するプログラムを提供しています。

これからも地域社会をともに支える仲間として、ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。(編集部)



## 編集後記



新年のご挨拶の中で「守・破・離」の話をしました。これは本来、武道や芸術における修行の在り方を示したのですが、私は達人や職人に淡い憧れがあります。――先日美容院へ行った際、手に職のある美容師さんも立派な職人さんですよ、などと雑談を交わしていた。担当美容師は、大変博識で頭の回転も速く、私がどんな話題を投げても、彼の知識の最上部をサラッとすくって上手に投げ返す。それも含めて“職人技”だといつも感心してしまう。そんな名プレイヤーの彼に、私は思わず問うてみた。私も今から職人を目指せますか？と。少しの間があって、彼は答えた。「飴細工職人はいかがでしょうか」。ものすごい変化球である。彼が初めて(おそらく)適当に返したボールを、私も適当にキャッチし帰路についた。はて、飴細工職人ってどうしたらなれるのかしら？調べてみると、90度近くに煮えたぎる飴を素手で扱い、素早くあの芸術的な細工に仕上げる度胸と根性と繊細さが必要とのこと―飴細工職人は諦め、私は大好きな「たまり場」を、仲間と切磋琢磨しながら創って行きましょうか。好きこそ物の上手なれって言いますね。(なかい)